

ごあいさつ

学校長 今村律子

2017年度の『和歌山大学教育学部附属小学校紀要』を刊行します。

今年度は、2015年度から継続してきた「問い続け、学び続ける子どもたち」という研究主題の最終年（3年目）となりました。昨年度までの取り組みでの成果や課題をもとに、今年度は副題として「子どもの言葉と学びの深まり」を掲げています。学びの深まりを「可視化、共有化、焦点化」の3観点でとらえて、授業中の子どもの言葉を可視化、共有化させ、それらを繰り返すことから、その過程で子どもたちがお互いに意見交換し、自分の考えを振り返って思考を深めていく授業づくりに取り組んできました。それらの授業実践は、2017年10月に開催した教育研究発表会を経て、研究成果という形で本紀要を皆様のもとにお届けする次第です。

昨年には、国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議の報告書により、社会環境の厳しさ、新学習指導要領への対応そして、教員の多忙化という状況のもと、附属学校においてもその存在意義、役割、特色の明確化が問われています。例年通りお届けする本紀要ではありますが、ご高覧いただき、皆様より様々な角度から忌憚のないご意見を賜り、附属学校として今後なお一層努力してまいりたいと思います。

最後になりましたが、本校の教育・研究活動の推進にあたり、ご指導、ご助言をいただきました皆様に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。